

絵の具と筆、画用紙を用意し、指示やゴールはなく、見守りました。

子ども達は画面に絵の具を塗りはじめます。
紙がこすれるほど同じところを塗っている人もいます。
絵の具を混ぜ、手を浸す子もいます。
床のビニールに描き「みて！」と指さしています。

色のついた澱粉のりを出しました。
汚れる事も忘れて、手に塗り、じっくりとそれと出会っていきます。
絵の具と混ぜてみます。紙の上に盛るように塗っていきます。

最後まで遊び続ける人は、自分のやりたい事を見つけ、
自分なりに遊びを展開していきました。
絵の具の上にティッシュをのせ、染みていく様子を見つめています。
青、黄色、混ぜる色を指定してきます。何でもいいわけではなさそうです。

絵の具を容器から移し替えることに、夢中になる人もいます。
真剣な眼差しです。自分の世界に入り込んでいきます。
自分に必要なものが何か、目で探しています。
想定を立て、確かめる。次はこうしてみよう、と次々に展開していきます。
いろいろな事を自分で考え、ひらめき、インプットしているようです。
1歳児なりに、考え、探求する姿に驚かされます。

何をするか、自分の興味で選択できる、
大人の声掛けが少ない事で、自分のやりたい事に集中できた、
準備をすることで、子どもを止める事が無く見守れた、
そうすることで、自分の感じるままに、素材と出会っていったのでしょう。

自由にしている、と言われて戸惑う子もいるかもしれませんが。
汚れても大丈夫。自由にやっても大丈夫。を積み重ねることで
いろいろな体験が広がっていきます。
<自分はどうしたいのか>にフォーカスする事は大事です。
大人がルールを敷かなくても、自分で見つけていけるはずですよ。

